

四国横断自動車道 勝浦川渡河橋の整備に関する環境保全検討委員会

第1回検討委員会 議事概要

1. 日時 平成27年10月15日(木) 14:00～16:30

2. 場所 アスティとくしま 1階第3会議室

3. 出席者

〔委員長〕

中野 晋 徳島大学 大学院ソシオテクノサイエンス研究部 教授

〔委員〕

大原 賢二 徳島県立博物館 前館長

鎌田 磨人 徳島大学 大学院ソシオテクノサイエンス研究部 教授

木下 覺 徳島県植物研究会 会長

桑江 朝比呂 港湾空港技術研究所 沿岸環境チーム チームリーダー

長尾 文明 徳島大学 大学院ソシオテクノサイエンス研究部 教授

成行 義文 徳島大学 大学院ソシオテクノサイエンス研究部 教授

浜野 龍夫 徳島大学 大学院ソシオ・アーツ・アンド・テクノサイエンス研究部 教授

和田 恵次 奈良女子大学 研究院自然科学系 教授

〔オブザーバー〕

神野 忠 徳島県 県土整備部運輸戦略局 高規格道路課長

〔その他〕

徳島河川国道事務所

4. 議事次第

1. 開会挨拶

2. 事業者挨拶

3. 委員及びオブザーバーの紹介

4. 規約承認及び委員長の選任

5. 議事

(1) 事業概要及び勝浦川の概要

(2) 委員会の進め方

(3) 勝浦川及びその周辺における基礎情報

(4) 勝浦川及びその周辺における今後の調査方針

(5) 地形変化解析結果

6. 閉会

5. 審議結果

- ・委員会の設立・委員会規約について承認され、委員長が選出された。
- ・委員会での意見を踏まえて調査・解析を行い、次回委員会に諮る。

6. 主な意見

- 干潟について、小面積でも減少するものに対しては代替措置を講じて欲しい。
- 勝浦川上流部ダムの建設当時の環境調査資料を確認して下さい。
- トンネル坑口部、工事用進入路についても十分調査して下さい。
- 生物調査については、調査方法を明確にして下さい。
- 生物調査の確認種リストを資料としてつけて下さい。
- 鳥類の飛翔状況調査は、潮が動いている時間帯に調査した方が良い。また、右岸側の入江については中まで確認して下さい。
- カモ類についても場所や個体数を合わせて確認して下さい。
- 鳥の夜間の状況把握のため、夜明け前後に出来る限り確認して下さい。
- 当地の植物で最も重要な種は、■■■であり大事にして下さい。また、県下一、大きな群落がある■■■については工事用道路で失われることがないように配慮して下さい。
- も10月の開花期に調査して下さい。
- 範囲外ではあるが、隣接地に生息するアルゼンチンアリに注意すること。
- の採取法について検討して下さい。
- 橋脚の数等は、複数パターンについて検討したほうが良い。
- 波浪や流量による底質への影響について説明して下さい。
- 粒度と河床変動解析の計算手法について示して下さい。

7. 配付資料

- 資料1 四国横断自動車道「勝浦川渡河橋の整備に関する環境保全検討委員会」について
- 資料2 委員会規約（案）
- 資料3 事業概要及び勝浦川の概要
- 資料4 委員会の進め方
- 資料5 勝浦川及びその周辺における基礎情報
- 資料6 勝浦川及びその周辺における今後の調査方針
- 資料7 地形変化解析結果